

事業所名

そらば

支援プログラム

作成日

R8 年

3 月

2 日

法人（事業所）理念		人と人を繋ぐ架け橋を創造する						
支援方針		楽しいこと、嬉しいことをたくさん経験する中で「自分でわかること」「自分でできること」を増やし、スタッフも共に成長する						
営業時間		9 時	分から	18 時	分まで	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	公共交通機関の利用や商業施設での買い物、掃除、昼食やおやつ作りなど日常生活に必要なスキルを習得する活動や課題を行います。余暇の過ごし方を自分で選択し、リラックスして過ごせる安全で安心できる居場所となるようにします。通所することが楽しみになり、目的を持つことで、生活リズムを意識できるようにしていきます。						
	運動・感覚	体操やヨガ・ダンスなどの活動で視覚的要素を取り入れ、自ら進んで体を動かしていく楽しさを知り、身体の維持と強化につなげていきます。個別課題・制作活動などで、感覚を活用する内容を取り入れ、手や指先操作のスキルアップを行います。興味のある事なども取り入れ、楽しみながら体を動かしていきます。						
	認知・行動	同じ年齢や同性の仲間との間に生じる、心理的な影響への対処の仕方を身に付けられるように支援します。成功体験を増やし、新たなことに取り組んでみようという気持ちやモチベーションを維持できるよう支援を行います。入ってくる情報を適切に処理し、行動できるよう支援します。						
	言語コミュニケーション	SSTを利用し、問題解決の仕方をシュミレーションすることでコミュニケーション能力の獲得を支援します。言語の他、個々に応じた様々な手段を通して自分の意思を発信しやすい環境づくりを行います。他者との物の貸し借りや普段のやり取りなど、職員を介して練習します。相手に応じた言葉遣いや場面に応じたやり取りを、見本を提示しながら練習します。						
	人間関係社会性	共に活動を企画したり、過ごし方のルールを作るなど主体的に参加する気持ちになるよう支援します。他者を意識した関わりややり取りができるよう、職員が介入しながら練習や振り返りを行います。図書館の利用や買い物体験などの活動を通じて、社会的な場面でのマナーや適応能力を高める支援を行います。集団活動で役割を持ち、人の役に立つ経験を積み重ねていきます。また、協調性のあるかかわりが持てるよう支援します。						
家族支援		必要に応じて面談の機会を設け、個別支援などについて情報共有を行います。場合によってはご自宅訪問を行い、ご本人やご家族と面談を行います。お迎え時にその日の様子を伝えたり、家族からの希望要望を確認して今後の支援に反映させます。			移行支援		ご家族と一緒に、準備を行います。縦横連携を密に行い進級進学や就労、自立などに必要な情報を提示・共有し、本人・家族が安心して、次のステージに向かう力が生まれるようにサポートしていきます。	
地域支援・地域連携		関係機関と役割分担を行い、自立に向けた支援ができるように情報共有や提案をしていきます。関係機関と連携を取り、本人とのかかわり方や将来を見据えた支援について、情報共有をします。地域の商業施設に触れる機会を設け、経験体験を増やします。			職員の質の向上		キャリアパスを実施し、等級に合わせた研修の実施や、スペシャルラーニングを活用しています。毎月研修を行う時間を設け、グループワークなどを行っています。職員間で情報の共有を丁寧に行い、統一した支援を行っています。	
主な行事等		初詣 正月遊び 豆まき お花見 プール お月見ゲーム 七五三参り ハロウィンパーティー クリスマス会 散歩 公園 大掃除 外食 買い物学習 お誕生会 季節の工作 季節のおやつ作り 作品展 ゴミ拾い 避難訓練 交通安全教室 合同交流会（緑日・運動会・芋煮会など）						